9条改憲NO！3000万署名運動さらに広げよう

11・3大阪総がかり行動

11月3日(祝)秋晴れのもと、大阪扇町公園には1万2000人の参加者が集まり「輝け憲法！ともに生きる社会を！11・3おおさか総がかり集会」が開催され、同仁会グループからも友の会、職員130人以上が参加しました。

3000万人署名をさらに広げよう！と主催者あいさつ

社会や政治への風刺を歌詞にのせてライブした、社会派アイドルグループ「制服向上委員会」で会場は盛り上がりました。

「戦争させない1000人委員会・大阪」の米田共同代表からは「3000万人署名運動をさらに広げて安倍内閣総退陣に追いこんでいこう！」と主催者挨拶。参加者がコールに合わせていっせいに「9条改憲NO！」「東アジアを平和に！」のプラカードを掲げました。また沖縄平和運動センターの山城議長より、先日の県知事選勝利を踏まえて、辺野古への基地建設を再開した国への怒りがのべられました。

また日本共産党などの立憲野党各党からも「来年の統一地方選、参院選で現政権を打ち破り、憲法改悪などに暴走する安倍政権いっこくも早く退陣させよう！」と熱い訴えがありました。プログラムには、朝鮮初等学校の女学生、沖縄の歌やエイサーなどが披露され、大きな拍手や歓声に包まれました。

（組織部・安部公）

堺市(各区)キャラバン

事例を持っての参加が大切

10月堺市すべての行政区でキャラバンが行われました。

事前に堺市からの回答書をベースに、堺市社会保障推進協議会作成資料を基に各区共に活発な懇談会となりました。

これまでの運動として、堺市では第2子からの保育料無償化、就学援助制度就学前の3月から支給、子ども医療費助成制度の高校卒までの拡充（来年の4月より）、国保特定健診及び各種がん検診の無料化（2年間）など、前進しました。

今回は、要求項目を6項目（①国民健康保険②介護保険・高齢者施策③子育て支援④障害者施策⑤健診⑥生活保護）に分けて質問や要望をしました。

堺市は全国政令都市でも初めての条例「地域包括ケアシステム推進条例」を可決しました。私たちはこの推進にあたっては公的な支援を含め必要な支援が隙間なく要支援者に届くよう強く求めました。

地域からは、ケアマネに来てもらう以前に住居がゴミ屋敷化しており、市民団体でごみ袋何十袋にも達し2日間以上かけて掃除した事例が報告されました。このような問題も市が窓口となり対応して欲しいと、切実な声も出されました。

がん検診の無料化も、「全体的に受診率が上がっている」と、どの区からも返答がありました。大きな前進であるが、特定健診の受診券番号の処理方法や、無料化となったがん検診ではあるが、年齢や偶数年齢等の制約があることに市民からの戸惑いがあることも、現場からの声として出されました。

キャラバンは地域や事業所の声を反映させる絶好のチャンスで、事例を持って参加することで、地域での問題を行政と共に2解決する可能性があることを示唆しました。

（堺社保協　事務局）

南区キャラバン

西区キャラバンでの打ち合わせ

美原区キャラバン

Letter お便り

会員さんから「とも」に届いたお便りを紹介します。

読みこんでます

奈良県明日香村　森本和史（64歳）

「とも」毎回読んでいます。特に仕事辞めてからはかなり詳しく読むようになりました、時々、知っている人の顔が写っているとなつかしく思います。

母も百歳に

堺市西区　野間多絵子（69歳）

「会員さん紹介」の汐見さんと同い年の私の母も99歳です。来年は百歳。どんなプレゼントを用意しようか考えています。

時の流れ

岸和田市　蔵本真澄（48歳）

耳原総合病院で出産した長男が大学入学、長女は高2で隠岐の島生活…本当に早いものです。月日が過ぎるのは。友の会のさらなる発展を願います。

高野　純

無料低額診療

堺市中区　堀内正雄（68歳）

無料低額診療の記事を見ました。医療費が高くて病院に行けないといった声をよく聞きます。お金の心配なしに医療を受けられる診療所があると安心です。

小寺冨美代

耳原の広がり

富田林市　馬場義伸（66歳）

今月号の1つ1つの記事が、耳原の活動の広がりを感じるものばかりでした。中でも高校生たちの「1日看護師体験」は、この中から若い希望溢れる看護師さんが育ってくれたらいいなと思いました。

ゴミの処理は

堺市北区　島村知世（10歳）

この間、お母さんが早朝に散歩しているおじいちゃんが、歩きながらゴミを川に投げ捨てているのを見たと言っていました。とてもいけないことだと思いました。